



四小 ❁ 日本の伝統を体験しよう ❁

市立第四小学校では、総合的な学習の時間で、6年生が日本の伝統文化を体験しました。華道、茶道、書道、日本舞踊、剣舞、詩吟、和装、和楽器等から興味のある分野に分かれて調べ学習を行いました。また、地域にいらっしゃる専門の講師の方々を、実際にお招きして体験学習を行いました。体験後は、学んだことをパンフレットにまとめ、ミニ発表会を行いました。子どもたちが、日本の伝統文化について自ら調べ、体験し、人に伝えることにより、4年後の東京オリンピックでは、自国の文化を外国人の方たちに発信できるようにしたいという願いを込めて行いました。



<ゲストティーチャーからの授業風景>



五小 ❁ こころのチャレンジプロジェクト ❁



<勅使河原さんからのお話>

市立第五小学校では、東京都の「こころのチャレンジプロジェクト」の一環で、オリンピックであるスピードスケートの勅使河原郁恵（てしがわらいくえ）さんをお招きし、各学年合同で、あいさつすることや、相手を思いやることの大切さなどについてお話を伺いました。子どもたちは初めは緊張していましたが、勅使河原さんと一緒に体操をしたり、積極的に質問をしたりして、とても盛り上がりました。また、勅使河原さんに正しい歩き方を教えてもらい、正しい姿勢で歩くことがすべてのスポーツの基本になることを学びました。また、夢を持つことの大切さを教えていただき、子どもたちが自分の目標を考えるととても良い機会となりました。

八小 ❁ 夢・未来プロジェクト ❁



<ヨーコ・ゼッターランドさんによる授業>



市立第八小学校では、東京都の「夢・未来プロジェクト」の一環で、オリンピックである元バレーボールアメリカ代表のヨーコ・ゼッターランドさんをお招きしました。子どもたちはゼッターランドさんから体を動かすことの楽しさや仲間を励ます言葉などスポーツの世界での外国人との交流の仕方を学びました。1、2年生は英語を使ってゲームをして体を動かしました。3、4年生は友だちどうしてボールを使ったゲームを頑張りました。5、6年生は実際にバレーボールのルールに沿って競技を行いました。このプロジェクトを通してゼッターランドさんから英語を使った優しい言葉かけを教わり、「友だちにもこんな言葉を言いたい」といった感想を持ちました。

九小 ❁ 九小ギネスにチャレンジ！ ❁

市立第九小学校では、九小ギネスという取り組みを行いました。例えば、5分間で何回縄跳びを跳べるかということや、個人やクラス対抗で競うといったものです。自分たちで目標を立てることで、どのくらい成長したか自分たちで確認できるようになります。



<縄跳びの様子>

子どもたちの自主性を重んじているので、先生が練習をしろと言うことはありません。子どもたちは、朝の時間や休み時間などに誘い合って、練習に励みます。苦手な子に跳び方のコツを教えてあげたり、全員で跳ぶタイミングに掛け声をかけたりして、目標に向かって頑張りました。



この取り組みを通して、子どもたちは満足感を味わい、体力の向上はもちろん協調性や団結力を高める事ができ、大きく成長することができました。

四中 ❁ 車椅子バスケットボールに挑戦！ ❁

市立第四中学校では、パラリンピアンである車椅子バスケットボール元日本代表の京谷和幸さんと車椅子バスケットボールチームの千葉ホークスの現役選手3名をお招きし、オリンピック・パラリンピックについて、全校生徒に向けて講演していただきました。生徒たちが障害者スポーツへの理解を深めることや、パラリンピックに興味・関心を持つことを目的としています。京谷さんたちは、あきらめない事の大切さ、目標を持って努力をすれば夢は叶うといったお話をしてくださいました。講演後は京谷さんたちによる車イスバスケットボールの実演会と、四中のバスケットボール部代表生徒たちとのフリースロー対決を実施しました。フリースロー対決に参加した生徒たちは、実際にやってみるととても難しいという感想を持ち、選手たちの努力を垣間見ることができました。対決に一喜一憂し、大盛況に終わりました。



<京谷さんと選手の皆さん>

五中 ❁ 塚田真希さんとの柔道体験 ❁

市立第五中学校では、柔道のオリンピック金メダリストの塚田真希さんをお招きしました。塚田さんからは、1年生には講演をしていただき、2年生には柔道の実技を教えてくださいました。1年生への講演では、オリンピックで塚田さんが経験されたこと、努力すること、困難にも負けずに頑張ることの大切さについてお話をいただきました。



<塚田さんによる柔道の体験授業>

2年生はクラスごとに一時間ずつ塚田さんから授業を受けました。生徒たちがみな、塚田さんのお話を興味を持ってしっかりと聞いていたことが印象的でした。

最後には、生徒と塚田さんが握手をして終わりました。生徒が生き方について学んだり、オリンピック・パラリンピックへの関心を高めるととても良い機会となりました。

